《原爆の図》は、近年、ますます歴史的・社会的意味が大きくなり、国内外で高く評価されつつあります。

将来的には、人類普遍の財産として、重要文化財や世界遺産に選ばれる可能性もあるでしょう。

一方、丸木美術館は、建物の老朽化や、展示室・収蔵庫の温湿度管理および紫外線・虫害・塵埃対策の未整備などの問題に直面し、絵画には深刻な被害が表れています。

そこで、2017年5月の開館50周年を期に、「原爆の図保存基金」を立ち上げました。

CALL FOR DONATION

原爆の図保存基金ご協力のお願い

作品管理のできる新館建設

基金の目的のひとつは、《原爆の図》保存展示のための新館建設です。美術館の東側敷地内に、作品管理の可能な100㎡程度の展示室や地下収蔵庫を備えた建物を建設します。新館完成後は《原爆の図》を、年4回程度の展示替えをしながら順次公開。現在の展示室では、《原爆の図》14点の原寸大複製を作成し、常設展示を続けます。

アーカイブの整理

もうひとつは、アーカイブの整備です。現在も、丸木夫妻関係資料の保存収集を行っていますが、一般に公開できるだけの整理やデジタル化の作業はできていません。こうした資料は、作品理解を深めるために必要です。将来的にはインターネット・アーカイブの確立、ウェブサイトの多言語化・海外発信の充実を目ざします。

未来に歴史をつなぐために

基金の目標金額は5億円です。丸木美術館にとって例のない大規模な募金活動となります。この美術館は、行政や企業の支援に頼ることなく、市民の力に支えられてきました。これからも《原爆の図》を中心に、自由で自立した活動のできる美術館として、歴史をつないでいきたいと願っています。

どうぞ、お力をお貸しください。

公益財団法人原爆の図丸木美術館

寄付金額は任意ですが、1万円以上寄付された方には記念誌をお送りします。10万円以上寄付された方のお名前は、新館に掲示いたします（希望制）。
寄付は税額控除の対象となります。遺贈・相続財産のご寄付も受け付けています。お問い合わせは、原爆の図丸木美術館（0493-22-3266）まで。
基金についての経過報告は、原爆の図丸木美術館WEBサイトまたはfacebook「原爆の図 丸木美術館」のタイムラインで適時行っています。
他行等からのお振込の場合は、店番029　当座預金　口座番号0138290　加入者名 原爆の図保存基金となります。

払込取扱票

00

口座記号	口座番号（右詰で記入）	金額 ※ 千 百 十 万 千 百 十 円
00260-6	138290	
加入者名	原爆の図保存基金	料金 / 備考
通信欄	※ このチラシの配布にご協力いただける場合、ご希望の分だけチラシをお送りします　（　　）部送付希望	
ご依頼人	おところ ※ 〒 - おなまえ 様 （ご連絡先電話番号 — — ）	日附印

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）

これより下部には何も記入しないでください。

各票の※印欄は、払込人において記載してください。

切り取らないで郵便局にお出しください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	00260-6 138290
加入者名	原爆の図保存基金
金額	※ 千 百 十 万 千 百 十 円
ご依頼人	おなまえ ※ 様
料金	（消費税込み） 円
備考	日附印

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

●ご住所・お名前は読みやすい字ではっきりとお書きください。
●お名前にはふりがなをお願いします。
●裏面の説明をお読みの上、ご記入ください。